

**日本自動車殿堂**  
**「2020 殿堂者（殿堂入り）」「2020 歴史遺産車」**  
**「2020～2021 殿堂イヤー賞 4賞」が決定しました!!**

NPO 法人 日本自動車殿堂 会長 藤本 隆宏(東京大学経済学部 教授)

事務局: 〒東京都千代田区神田神保町1-32 3F

TEL:03-3291-8511 / FAX:03-3291-4418 <http://www.jahfa.jp>

**1. 2020 日本自動車殿堂 殿堂者（殿堂入り） 3名**



**岡並木**  
交通文化と  
その新たな価値観の道を拓く



**平井敏彦**  
自動車文化に貢献した  
初代ロードスターの開発責任者



**伊藤修令**  
日本を代表する  
高性能スポーツカーの礎をつくる



**2. 2020 日本自動車殿堂 歴史遺産車 3車**



**トヨペットライトトラックSKB**  
(1954年)  
Toyopet Light Truck SKB



**ホンダ RA272**  
(1965年)  
Honda RA272



**スズキ ジムニー LJ10型**  
(1970年)  
SUZUKI JIMNY

**3. 2020～2021 日本自動車殿堂 イヤー賞 4賞**



日本自動車殿堂  
カーオブサイヤー  
ホンダフィット  
Honda FIT



日本自動車殿堂  
インポートカーオブサイヤー  
プジョー 208/e-208  
Peugeot 208/e-208



日本自動車殿堂  
カーデザインオブサイヤー  
マツダCX-30  
MAZDA CX-30



日本自動車殿堂  
カーテクノロジーオブサイヤー  
都市型RWD EVシステム: Honda e  
City Commuter Rear Wheel Drive  
EV System: Honda e



2020・11・06

## 2020 殿堂者（殿堂入り） 2020 歴史遺産車 2020～2021 殿堂イヤー賞

NPO 法人 日本自動車殿堂 会長 藤本 隆宏(東京大学 教授)

事務局: 〒東京都千代田区神田神保町1-32 3F

TEL:03-3291-8511 / FAX:03-3291-4418 <http://www.jahfa.jp>

**表彰式典: 事前収録による表彰動画を2020年(令和2年)11月13(金曜日)午後12時より、配信します(<http://www.jahfa.jp>)**

### 1. 2020 日本自動車殿堂 殿堂者（殿堂入り） 3名

#### 岡 並木 氏

(交通ジャーナリスト、朝日新聞編集委員、静岡県立大学教授、1926～2002)

##### 交通文化とその新たな価値観の道を拓く

岡 並木(おか・なみき)氏は、ジャーナリストとして生涯にわたり自動車交通問題に取り組み、利用者ニーズに立脚した総合交通体系のあり方を提案され、ノンステップバスやコミュニティバスなどを実現、さらに環境・エネルギーの観点から交通体系を提言されました。その偉業をたたえ永く伝承して参ります。

#### 平井 敏彦 氏

(初代ロードスター開発責任者、大分大学工学部生産システム工学科元講師、1935～)

##### 自動車文化に貢献した初代ロードスターの開発責任者

平井 敏彦(ひらい・としひこ)氏は、オープンスポーツカーの新たな市場創りにマツダ「ロードスター」を開発・投入し、運転の楽しさやオープンカーの魅力を再び世界に訴え、2人乗り小型オープンスポーツカー世界一の累計生産台数樹立の源流となりました。その偉業をたたえ永く伝承して参ります。

## 伊藤 修令 氏

(日産自動車 R32 スカイライン開発主管、オーテックジャパン元 常務取締役技術本部長、1937～)

### 日本を代表する高性能スポーツカーの礎を築く

伊藤 修令(いとう・ながのり)氏は、名車スカイラインの開発に長年従事し、R32 型の開発責任者として伝統ある GT-R を発展させ、レース活動においても連戦連勝の偉業を成し遂げました。同車はその後、日本を代表する高性能車に進化し、世界に高く評価されるに至りました。その偉業をたたえ永く伝承して参ります。

## 2. 2020 日本自動車殿堂 歴史遺産車 3車

### トヨペット ライトトラック SKB (1954年)

トヨペット ライトトラック SKB は、安価な三輪トラック全盛期において乗用車なみの乗り心地と走行安定性をもつ簡素で実用本位の四輪トラックとして発売され、戦略的な価格設定や優れた積載能力で市場を開拓。四輪1トン積車の地位を確立した歴史名車である。

### ホンダ RA272 (1965年)

ホンダ RA272は、純国産F1マシンとして開発され、V型12気筒エンジンを横置にレイアウトした独自の設計により、1965年のF1メキシコ グランプリで初優勝を果たす。日本の技術力の高さを世界に知らしめた歴史的名車である。

### スズキ ジムニー LJ10型 (1970年)

スズキ ジムニーは、悪路走破性の高い軽四輪駆動車として50年にわたって量産され、多様な用途に対応するロングセラーモデルに成長し、世界中から評価され続けてきた。その礎を築いた初代 LJ10 型は、新たな軽自動車の道を切り拓いた歴史的名車である。

### 3. 2020～2021 日本自動車殿堂 イヤー賞 4賞

---

#### 2020～2021 日本自動車殿堂カーオブザイヤー（国産乗用車）

##### 「ホンダ フィット」および開発グループ

新世代向け高効率・低燃費 2 モーター式 e:HEV

実用性と安全性に優れたパッケージング

シンプルで快適な先進の安全運転支援システム

---

#### 2020～2021 日本自動車殿堂インポートカーオブザイヤー（輸入乗用車）

##### 「ブジョー 208/e-208」およびインポーター

世界市場向け EV 仕様を含めたバリエーション

エレガントにして優れたコストパフォーマンス

意欲的な先進安全技術の導入

---

#### 2020～2021 日本自動車殿堂カーデザインオブザイヤー（国産・輸入乗用車）

##### 「マツダ CX-30」およびデザイングループ

アートの領域に迫るデザインコーディネート

走りを主張させるエクステリアデザイン

安心して楽しめるインテリアデザイン

---

#### 2020～2021 日本自動車殿堂カーテクノロジーオブザイヤー（国産・輸入乗用車）

##### 「都市型 RWD EV システム：Honda e」および開発グループ

近未来の都市型コンピューターシステム

人とクルマの先進のヒューマン・マシン・インターフェイス

操作性に優れたリアモーター・リアドライブシステム

---

【問い合わせ先】

日本自動車殿堂 事務局

担当 山田国光

[info@jahfa.jp](mailto:info@jahfa.jp)

TEL:03-3291-8511 FAX:03-3291-44

\* 日本自動車殿堂の組織、活動実績などについては <http://www.jahfa.jp> をご覧ください。

\* 受賞者(車)の詳細、写真は6日(金)午後12時に公開いたします。 <http://www.jahfa.jp>

## 参考資料 1

### 2020～2021 日本自動車殿堂イヤー賞投票結果(各賞ベスト3)

2020～2021 日本自動車殿堂カーオブザイヤー		(MAX:1700 点)
1位	「ホンダ フィット」	1414 点
2位	「トヨタ ヤリス」	1322 点
3位	「マツダ CX-30」	1061 点
2020～2021 日本自動車殿堂インポートカーオブザイヤー		(MAX:1700 点)
1位	「ブジョー 208/e-208」	1038 点
2位	「アウディ A1 スポーツバック」	958 点
3位	「VW T-Roc」	886 点
2020～2021 日本自動車殿堂カーデザインオブザイヤー		(MAX:1300 点)
1位	「マツダ CX-30」	959 点
2位	「ダイハツ TAFT」	882 点
3位	「ランドローバー DEFENDER」	718 点
2020～2021 日本自動車殿堂カーテクノロジーオブザイヤー		(MAX:1500 点)
1位	「都市型 RWD EV システム: Honda e」	1110 点
2位	「SKYACTIV-X エンジン技術: マツダ CX-30」	991 点
3位	「低燃費 HEV 技術: トヨタ ヤリス」	930 点

## 参考資料 2

### 日本自動車殿堂・イヤー賞の選考要領(抜粋)

#### 1. イヤー賞 4賞の選考

当該年度において発表・発売された新型車「最も優れた乗用車・輸入車・デザイン・テクノロジーおよびそれらの開発グループ等」を表彰する。

#### 2. 年次の選考対象期間

本年度の新型車の対象期間は、2019年10月19日から2020年10月15日までをその期間とする。

#### 3. 選考方法

- (1)イヤー賞は、選考の客観化と定量化そして高質化を目指し事前に各賞の選考委員集団の評価特性を位置付ける。すなわち、評価を行う側の委員の評価特性を「実用利便性」「経済性」「先進性」「安全性」「環境性」「審美性」などの項目により計量・解析し、レーダーチャートによって提示する。
- (2)各賞の選考は、選考委員の投票(上位6車選出・評価総合点)によって行なう。
- (3)選考委員は、自動車研究に係る大学教授や研究開発機関の研究者等とし、4賞に延べ65名があたり。
- (4)選考の投票には、総合評価および階層分析法(Analytic Hierarchy Process)を組み合わせた選考準備委員会が構築した統計分析・評価方式(データの正規化などによる評価の客観化・定量化)を用いる。

以上